

「民間事業者による大規模産業廃棄物最終処分場」の設置に対する決議

令和元年7月25日に足利市小俣町住民により組織された「小俣産業廃棄物最終処分場建設反対の会」から本市議会及び市当局に対し、5万人余の署名を添えて民間産業廃棄物最終処分場建設反対の陳情書が提出された。

これは、本市人口の3分の1を超える市民の本件建設計画に反対することへの強い思いの表われであり、本市の豊かな自然環境や生活環境、地域の景観や交通安全に対する強い懸念から発せられたものである。

民間事業者による産業廃棄物最終処分場は、市内の家庭から出されるごみを受け入れる本市の一般廃棄物最終処分場とは性質が異なり、市外からの産業廃棄物を受け入れる施設である。

将来にわたって市民の安全、安心な暮らしを守ることへの責務を負う市議会は、本件建設計画が本市にとって極めて重大な事案であると認識し、これまでも反対の立場から動向を注視するとともに、機会あるごとに反対の意思を表明してきたところである。

今般、陳情書の提出を受けて、市民の懸念を払拭し、本市の豊かな自然環境等を将来の世代へと継承するためにも、市民、市議会、市が本件建設計画に反対する思いを一つにして、取り組むことが特に重要なことである。

よって、足利市議会は民間産業廃棄物最終処分場の建設に対して強く反対を表明する。

以上、決議する。

令和元年9月24日

足利市議会